



【第 14 号】

平成30年5月21日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港の荷役機械たち

今回は、小名浜港が国際バルク戦略港湾、特定貨物輸入拠点港湾に選定されていることを紹介しました。今回は、小名浜港に届いた貨物の荷揚げを行う荷役機械（クレーン）の一部を紹介していきます。港には、船から貨物を積み卸す機械としてクレーンが使われていますが、ばら積み貨物を船から陸揚げする荷役機械のアンローダと、ばら積み貨物を陸から船に積みつけるシップローダなどがあります。コンテナ貨物の荷役機械は、コンテナを船から陸へ、陸から船へ積み卸しが行えるクレーンがあります。

水平引込式アンローダ(3号ふ頭)



水平引込式アンローダは、先端のグラブバケットを変えることにより、石炭や銅精鉱、亜鉛鉱などのばら積み貨物を船から荷揚げできます。吊上加重：8t 能力：315t/時

ガントリークレーン(大剣ふ頭)



大剣ふ頭には、コンテナターミナルが設置されており、コンテナの積み卸しを行うガントリークレーンが設置されています。吊上加重：50t 能力：40個/時 (コンテナ)



バケット式連続アンローダ(6号ふ頭)



バケット式連続アンローダは先端の複数のバケットが回転することで、連続的に船から貨物を掻き上げます。能力：1,500t/時

シップローダ(7号ふ頭)



シップローダは小名浜港に荷揚げされ貯炭場に集積した石炭を再び内航船に積み付けます。石炭は広野火力発電所に移出されます。

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



今年度初の小名浜港内見学を行いました

いわき市立中央台北中学校 1年3組と4組の皆さん



4月20日(金)いわき市立中央台北中学校1年3組と4組の皆さん(62名)が小名浜港を訪れ、今年度初の港内見学を実施しました。

大剣ふ頭のガントリークレーンを小名浜マリブリッジから見ていただいた後、実際に大剣ふ頭に行き間近で見させていただきましたが、とても大きいことに驚いていました。

今回は、雲一つない青空の下で小名浜マリブリッジを背景に記念撮影をすることができました。

落ちてるのは石炭かな？



当所では、職員がバスに同乗し、港の役割や各ふ頭での取り扱い貨物について説明しながら、3号ふ頭から大剣ふ頭まで巡る港内見学を実施しています。随時受付を行っておりますので、詳しくは当事務所のHPをご覧ください。

*港内見学は小・中学生、高校生を対象に実施しています。



小名浜港湾建設事務所長の紹介

Q 小名浜港の第1印象はいかがでしたか？

A 空がまぶしいですね。
復興が進んでおり、まさに福島県の復興をアピールするシンボルになると感じました。

Q 以前はどんな仕事をしていましたか？

A 二本松土木事務所に勤務しており、道路・河川等の維持管理を担当していました。

Q 今年度の抱負は何ですか？

A 港湾1年目なので、初心にかえってしっかり勉強していきたいと思います。

Q 座右の銘とその理由を教えてください。

A 「案ずるより産むがやすし」、「迷ったらGO!」
このような気持ちで職員の皆様もあまり悩まずに業務に当たって下さい。



さとう としみち
佐藤 敏通 所長

Q 趣味は何ですか？

A 映画鑑賞です。

Q 休日の過ごし方を教えてください

A 韓流ドラマにはまっているので自宅で見えています。

編集後記

初めまして！今年からおなはまみなと通信の担当になりました「いつき」です。小名浜港についてまだまだ勉強中ですが、皆様にわかりやすく丁寧に伝えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

また、今回説明した荷役機械は天気がいい日は小名浜マリブリッジからも見ることができます。ぜひ、小名浜マリブリッジの一般開放にお越し下さい。

いつき君

